

9

2016

平成28年
No.591

旧盆にウヤフジ惚びて
ともに舞う

広 報

きかひ

撮影場所：金久公園（上嘉鉄盆おどり）

第35回喜界町夏まつり

8月6日・7日の2日間、島内各所で開催された「第35回喜界町夏まつり」。

6日は、町相撲場で『相撲大会』が行われ、『ミコシパレード』、『歩行者天国』は、よるこび通り（空港線通り）で行われた。

7日は、湾漁港で『フネインカー競漕』、スギラ会場では『八月踊り』、『演芸・歌謡ショー』、『花火大会』が開催された。町民らは、それぞれに満喫し、盛況のうちに幕を閉じた。



踊りパレード・ミコシパレード・綱引き



締めは、もちろん六調で月



ぜったい勝つぞ〜 ひばれ〜



うお〜 負けでたまるか〜



よるこびともパレードに参加



大人だって大好きワッショイワッショイ♪



おみこし大好きワッショイワッショイ♪

相撲大会



必死の攻防 小学生団体戦の取組み



迫力満点！一般団体の取組み



度胸一番！ちびっこ土俵入り



個人優勝者（左から岩崎くん、辻崎くん、勇さん、前泊さん）



小学生団体戦の部優勝 荒木チーム（前列3人）



一般団体戦の部優勝 63年生チーム（前列2人）



選手宣誓を務めた勇美玲さん（荒木）

相撲の結果

<p>小学生の部</p> <p>団体戦</p> <p>優勝 荒木 A・2位 中里</p> <p>3位 赤連 A</p>	<p>個人戦</p> <p>4年生の部</p> <p>優勝 岩崎康生・2位 勇智一</p> <p>3位 界翔希郎</p>	<p>個人戦</p> <p>5年生の部</p> <p>優勝 辻崎大成・2位 佳友</p> <p>晴城・3位 佳友晴哉</p>	<p>個人戦</p> <p>6年生の部</p> <p>優勝 勇美玲・2位 浜岡獅童</p> <p>3位 辻崎智大</p>
<p>一般の部</p> <p>優勝 63年生・2位 中里まり</p> <p>ろう会・3位 自衛隊</p>			

個人戦（二部）

優勝 前泊慶弥・2位 前川清敏・3位 折田貴史【敬称略】

歩行者天国



かき氷早食い大会「うっ頭の芯が・・・」



射的コーナー「気分はすっかりゴルゴ13」



ステージ前はこの人だけ



祭りの風物詩「金魚すくい」



ダイナミックな動きでエイサーを披露



多くの人でにぎわう「よるとび通り」

フネインカー競漕



笑顔で選手宣誓



中学生も大健闘!



まだまだ若い者には負きらんど〜



還暦組対決 プライモーズ (旧一中) チーム



還暦組対決 旧二中還暦チーム



還暦組対決 還暦坂元林 (旧早中) チーム



優勝へのラストスパート 消防署



「勝ったど〜」 喜禎運送店A



A・Bとも3位入賞の自衛隊



〜手舵の部優勝・消防署〜



〜固定舵の部優勝・喜禎運送店A〜



見事なチームワークで準優勝の上嘉鉄連合

優勝 消防署 (1分25秒09)・2位 上嘉鉄連合 (1分27秒70)・3位 自衛隊A (1分28秒41)	手舵の部
	優勝 喜禎運送店A (1分30秒35)・2位 喜界中野球部 (1分32秒74)・3位 自衛隊B (1分35秒20)
固定舵の部	
フネインカーの結果	



同窓決戦後 みんなで仲良く記念写真 (還暦組)

八月踊り・演芸・歌謡ショー・花火



今年の八月踊りは志戸桶集落



喜界島太鼓による雄壮な演奏



艶やかな衣装と舞で魅了するフラダンス



喜美子・美智子による島のブルース



おもしろトークと美しい歌声で観客を魅了したものまね歌手の 英明さん



涼やかな天候にも恵まれ多くの人で賑わった



喜界の唄姫川畑さおりさん、界眞子さん



花火写真はすべて盛崎渉さん提供



サンゴ礁

サイエンスキャンプ開催!

8月1日～5日にわたり、喜界島サンゴ礁科学研究所主催で「サンゴ礁サイエンスキャンプ」が研究所のある旧早町小学校跡地を中心に行われた。

小学3年生から中学2年生までの子どもたち16名が参加し、島内をはじめ名古屋や奈良、大分など日本各地はもとより、海外はドイツからの参加もあった。

子どもたちは、全国各地の大学に所属する研究者を講師に4つの班に分かれ、それぞれ研究テーマを設定。海洋実習で水中に広がるサンゴ礁の生物などを観察・採取したり、陸上で化石を観察・採取するなどし研究を進め、その成果をポスターなどを使い発表した。「ここから将来の科学者を生み出したい!」という思いからスタートしたこのキャンプ。まさに将来の科学者誕生を予感させるような充実した内容、そして子どもたちの成長を目の当たりにしたイベントとなった。



結成式の様子 ここから5日間のキャンプがスタートした



各班に分かれて研究テーマについて話し合い



海洋実習での観察・採取も重要な作業



緊張感と戦いながらも精一杯発表



成果発表は、資料などを用いて分かりやすいよう工夫されていた



最後はみんなで「5日間やりきったど〜♪」



今日はBBQ 思わず笑みが♪



成果発表には多くの人が駆けつけた

すこやかニュース

すこやかセンター (☎65-3522)

健康きかい21

《喜界町の目指す姿》

心豊かに健康で安心して

暮らしを喜界町

へ支え支えられ

元気で長生き

今回は「休養・睡眠・運動の健康」についてです。町民一人一人にできること。

- ・規則正しい生活を心がけ睡眠を十分とる。
- ・相談できる人を見つけたり自分に合ったストレス解消法を行う。
- ・身近な人が悩んでいたら話を聞いてあげる。
- ・人の悪いところでなくいいところを見つめる。



喜界町は、全国と比べて自殺(自死)で亡くなる人が多い現状です。(特に中年男性や高齢女性)

自殺を考えた時には、何らかのサインを発している人が多いといえます。いつもと違うなと思ったら、思い切って声をかけましょう。

気づき：家族や仲間の変化に気付いて声をかける。
傾聴：本人の気持ちを尊重し、耳を傾ける。
つなぎ：早めに専門家に相談するよう促す。
見守り：温かく寄り添いながら、じっくりと見守る。

9月10日～16日 自殺予防週間

大切な家族を自死で亡くされた家族は、つらく苦しい思いを抱え、様々な心の問題が起こりがちです。「眠れない」「気持ちが落ち込み日常生活に支障がある」などが続く場合は、専門機関へご相談ください。

同じ悩みを持つ方々同士で話をするこ



り、心の安らぎになる場合もあり、喜界町でも年に一度ほど「ご遺族のつどい」をしています。

健康増進普及月間

9月は、健康増進普及月間です。

皆さん、健康診断は受けましたか？



1年に一度は、自分のからだの状態を知るために健康診断を受けましょう。ただし、健康診断を受けただけでは何も変わりません。紹介状のある方は、早めに医療機関を受診しましょう。

一人では、なかなか生活習慣の改善が難しいと感じることもあると思いますので、そんな時には、ご相談ください。

保健福祉課 ☎65-3522

- 1に運動 2に食事
- しっかり禁煙
- 最後にクスリ

※医師会健診が11月3日～5日、個別健診が島内の医療機関で来年3月末まで受診可能です。

9月21日は世界アルツハイマーデーです。

アルツハイマー病は認知症の原因の一つです。認知症は誰もがなる可能性があり、あなたやあなたの家族にも起りうる身近な病気なのです。

★もし家族が認知症になったら

まずはかかりつけ医に相談しましょう。また介護やサービスの利用等については役場保健福祉課地域包括支援センター(☎65-3522)にご相談ください。

★家族会について

本町では、認知症の人と家族の会鹿兒島県支部喜界地区会「よりより」が毎月第2土曜日に活動しています。介護する方が1人で悩みを抱え込まないことが大切です。ぜひお気軽にご参加ください。

【問い合わせ先】

グループホームがじゅまる (☎55-5077)

3歳児健診で虫歯ゼロだったよ!!



はるひろ 峰山 陽光くん



いすき 中山 惟絆希くん



ゆき 霜田 結希ちゃん



りき 榮 李樹くん



こうのすけ 江口 功之助くん

第40回



上嘉鉄東集落レクリエーション大会!!

今年で記念すべき40回目を迎えた上嘉鉄東集落レクリエーション大会。
 小さな子どもからおじいちゃん、おばあちゃんまで参加して楽しい大会が行われた。
 山羊レースやパン食い競争など集落レクリエーション大会ならではのプログラムも見られ、
 帰省したハテイトウッチュの皆さんも心から楽しんだ1日となった。



その場で決まった選手宣誓を行う
帰省中の前島幸敏さん!



ラジオ体操も息ぴったり、集落性が出ますね〜



さあ、お楽しみの山羊レース スタート!



何と! 3コースの花子が飼い主に
抱えられてゴ〜ル〜!!



おおっと、ここでテント内が大盛り上がり
一体フィールドで何が起ったのか〜



し烈なトップ争い、なかなか前に進まない



パン食い競争と言えど採点種目
号の名誉をかけ、いやが上にも熱を帯びます



かけっこスタート前 選手たちが緊張の面持ちを
見せる中、ひとり大物選手が…



入りそうで入らない輪投げ
大人も子供もその一投にかけます



大会には名進行役がかかせません
笑いあり、笑いあり…(笑いすぎの)涙あり
で盛り上げます!



気持ちばわかりますが、ティ〜(手)はタミド〜





榎野^{りつき}律紀さん（喜界中3年）が優勝!!

カラテドリームフェスティバル 2016 国際大会が8月6、7日の両日、東京体育館で行われ、新人中学女子の組手部門に出場した榎野^{りつき}律紀さん（喜界中3年、赤連）が見事に優勝を飾った。榎野さんは「優勝して2、3日は実感がなかったが周囲からの祝福の言葉で喜びが湧いてきた。次は11月の県大会で優勝者としてのプライドを持って、勝利を目指したい」と力強く語った。指導している牧政^{まさみ}己さんは「終始攻め続けた非常にいい試合内容



練習ですどい蹴りを繰り返す榎野さん

だった。ゆくゆくは全日本選手権での優勝を目指してほしい」と話した。極真空手は町体育館において週5日、約30人（うち子ども20名）ほどが1時間半から2時間半の練習を行っている。取材時も気合いの声とともに、するどいミット打ちの音が響いていた。



優勝した榎野^{りつき}律紀さん



町体育館での練習風景

TOPICS III KIKAJIMA

シマの話題

かんがい排水事業推進協議会設立総会

農業のさらなる発展を目指して!

喜界島地区かんがい排水事業推進協議会設立総会が8月1日、役場コミュニティセンターにて開催された。平成28年4月から農業のさらなる発展を目的として、国が主体となり地下ダムに関連するかんがい排水事業の次期事業の地区調査に着手した。この協議会は、事業を進める上で必要となる地元体制の整備や事業の円滑な推進に関する各関係機関への要望、提案を行うための組織として町長を会長に設立された。協議会では今後、園芸作物の普及促進や環境面での事業化の条件整備を進めることとしている。



関係者が出席し設立総会が行われた

終戦記念日行事

慰霊塔において戦没者を追悼

8月15日、71回目の終戦記念日を迎えた。喜界町においても百之台慰霊塔にて戦没者の追悼が行われた。町側からは川島町長をはじめ保健福祉課の担当者らが出席し、遺族会からも役員らが出席し執り行われた。正午のサイレンの音に合わせ、代表で町長が慰霊塔に献花をし、手を合わせて戦没者の御霊に哀悼の誠を捧げた。終戦から71年という年月に遺族会の会員数も次第に減っており、全国的にも今後の戦没者慰霊行事の継続や戦争^{さんか}惨禍の次世代への継承などが課題となっている。



遺族らとともに戦没者の御霊を追悼する川島町長



貴重な出土品についての記者発表を実施！

町教育委員会埋蔵文化財センターは8月10日、手久津久地区等での発掘調査に関する記者発表を行った。今回の発表は、出土品の銅鏡と他の銅製品について行われたもので、いずれも南西諸島で初めて発見されたものだ。銅鏡は、同地区内の中増遺跡なかまし どころぼの土坑墓どこうぼから出土したもので、12世紀ごろのものと思われる湖州円鏡こしゅうえんきょう。これまでに沖縄県でも円鏡えんきょうのかけらや六花鏡ろっかきょうと呼ばれる銅鏡が見つかるものの、完全形の円鏡が副葬品として南西諸島で発見されたのは初めてだ。澄田主幹は「銅鏡をはじ

めとする貴重な副葬品が納められた被葬者がどういった人なのかについては、遺跡全体の性格を考える上でも重要な要素となると思われる。人骨の形質学的分析など多方向からの科学分析も行いながら解明に向けて努力していきたい」と語った。



出土した銅鏡



記者発表を行う澄田主幹



銅鏡が出土した伸展葬しんてんそうの土坑墓どこうぼ

TOPICS III KIKAJIMA

シマの話題

マンゴー生産農家

マンゴー品評会で喜界町が金・銀・銅を独占!!

県園芸振興協議会大島支部主催の「第2回奄美大島・喜界島マンゴー品評会」が8月3日、奄美市の農業研究センターで開催された。2島6市町村から23点の出品があり、喜界町の生産者が金・銀・銅賞を独占した。金賞は昨年に引き続き高岡果樹園の高岡清信さん(赤連)、銀賞は川村英幸さん(塩道)、銅賞は河上角栄さん(小野津)で後日、町長室で賞状の伝達式が行われた。高岡さんは「昨年の第1回品評会で金賞をいただいたが、2年連続での金賞受賞は難しいと思っていただけに素直にうれし

い。これも大島支庁の普及員のご指導や町担当者の方力添えのおかげ。日頃から何か疑問などがあればすぐに質問させてもらっている。今後も栽培に関して妥協することなく消費者にいいものを届けていきたい」と笑顔を見せた。町農業振興課の園田主事は「今回のトリプル受賞は生産者の皆さんの努力のたまもの。今後も生産者の皆さんと一緒にいいものづくりに邁進していきたい」と話した。



町長室での賞状伝達式



左から高岡さん、川村さん、河上さん



プロトレーナーによるケガ予防&トレーニング講座を開催！

き かい100スポーツクラブ(梶原貴史クラブマネージャー)は8月22日、体育館で「ケガ予防&体幹トレ教室」を行った。講師として、湘南ベルマーレ茅ヶ崎コンディショニングセンター院長の久野英範さんを迎え、幼稚園生から大人まで約50名の参加者に対し、身体の動かし方の仕組みやストレッチの仕方、体幹トレーニングの方法について指導を行った。

講師の久野さんは東京都出身の喜界2世。自身の夏休みを利用して、祖父母の住む喜界島を2年ぶりに訪れ、今回の企画が実現した。久野さんは「多く

の方が自分の身体について少しでも興味をもってもらい、よりスポーツを楽しんでもらえれば嬉しいです」と話した。子どもらは久野さんの話をしっかりと聞きながら、ストレッチなどに真剣に取り組んでいた。普段子どもたちのフォローに回ることが多い大人たちも、子どもたちのケガ予防につながるトレーニングなどの説明に熱心に聞き入っていた。梶原クラブマネージャーは「プロチームのトレーナーの方に指導法などについての的確なアドバイスを受け、大変刺激になった」と話した。

【報告：乾生一】



筋力とバランス感覚を鍛える【提供写真】



最後はみなで記念写真【提供写真】

TOPICS III KIKAIJIMA

シマの話題



スポーツ合宿続々

鹿屋高校バレー部と出水商業高校バスケット部が島合宿を実施！

鹿 屋高校男子バレーボール部(20人)と出水商業高校男女バスケットボール部(19人)が、このほど喜界島で合宿を行った。両チームとも顧問が以前、喜界高校に勤務していた縁がある。また、今回は「喜界町・まち・ひと・しごと創生総合戦略」の一環である「スポーツ合宿等誘致促進事業」補助金を活用できた。これは、交通費や宿泊費を対象に2/3以内の額を補助するもの。

鹿屋高校バレー部の中村泰志キャプテン(2年)は、「暑い中で喜界中学校との合同練習を行ったり、継続して声だしすることで、厳しい環境下での精神力や体力を養う

トレーニングができています。9月の大隅地区の新人戦では優勝以外ないと考えている」と意気込んだ。

一方、出水商業高校女子バスケット部キャプテンの井手上あみさん(2年)は、「喜界高校との合同練習でお互いの足りないところの技術交流が図れた。9月の北薩地区大会では、初心者も4人と多いが一人一人力を出しきり、少しでも勝ち進みたい」と目標を掲げた。

今後は、当補助金を活用したスポーツ合宿が増えることが見込まれている。



暑さ厳しい中での基礎練習で体力錬成(鹿屋高)



対外試合だからこそその貴重な経験が積める(出水商業高)



第6回フラガールズ甲子園

優勝より価値ある友情の絆！

第6回フラガールズ甲子園が8月21日、福島県いわき市のいわき芸術文化交流館アリオスで行われた。これは、フラダンスの高校日本一を競う大会で、第1回大会の優勝校は喜界高校だった。今回も喜界高校から7名の生徒たちが参加した。競技種目は「フラの部」、「タヒチアンの部」、フラとタヒチアンともに踊る「総合部門」があり、喜界高校が出場したのは「総合部門」。総合部門の表彰は、1位から5位まであり、入賞を果たしたチームは大会翌日に同市スパリゾートハワイアンズで行われるエキシビジョ

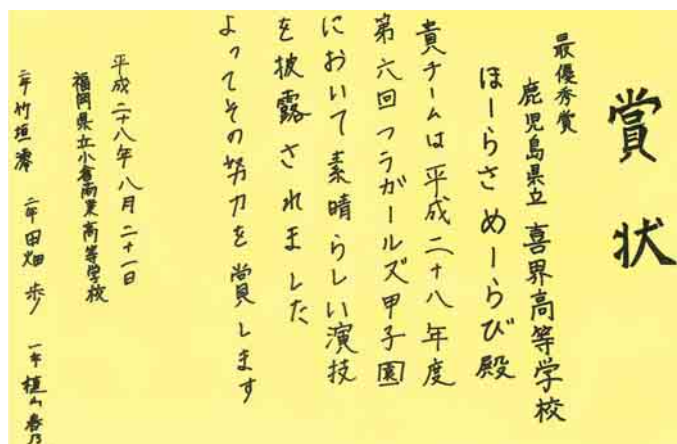


本番衣装を身にまとい舞台袖にて

ンショーで踊ることができる。出場するフラガールズたちは入賞を目指すことはもちろんだが、一つにはこのエキシビジョンショーの舞台で踊れることを夢見ている。今回、遠く福島の地で奮闘する子どもたちを応援しようとSABANI（サバニ）の好意により、パブリックビューイングが設置された。保護者やフラ仲間がスクリーンを見守る中、子どもたちは持てる力を出し切り素晴らしい演技をみせた。しかしながら、5位入賞を果たすことは叶わず、保護者らからは精一杯の演技に拍手が送られた。彼女たちの熱い夏が終わりを告げた。数日後、何と彼女達が表彰されたという



エールを送る保護者やフラ仲間ら



小倉商業高校のフラガールズから送られた手作りの賞状朗報が届いた。彼女達の手には、手作りの賞状があった。大会が終わった直後に宿舎を共にしていた福岡県の小倉商業高校の生徒たちから送られたものだった。小倉商業高校の竹垣澪さん（2年）は「本当に喜界高校の演技が素晴らしくて、入賞できなかったことが残念で悔しかった。宿に戻ってチームのメンバーや先生と話しをして、それなら自分たちが表彰しようとなった」と話してくれた。田畑歩さん（2年）と植山春乃さん（1年）の2人も「喜界高校の踊りを見て感動し、思わず涙が出た。何かしてあげたかった」



左から小倉商業高校の田畑さん、竹垣さん、植山さんと口をそろえた。喜界高校の加島希美さん（1年）は「表彰式が終わり、ショックで放心状態だったところに表彰状をもらって正直びっくりした。でも、心からうれしかった。彼女たちは、2～3日前に出会ったばかりなのに大会の演技後にも感極まった私たちと一緒に泣いてくれた」。

今回の大会で彼女たちは、優勝より価値のある友情の絆を手にした。「次は、同じ舞台で踊ってみたい。切磋琢磨しながらこれからも高めあっていきたい」と話す彼女らの笑顔は、純粋で真摯な輝きに満ちていた。



教育委員会の

まど

平成28年度 喜界町教育講演会

8月23日(火)に役場コミュニティセンターで「教育講演会」が行われました。

今年、広島市にある安田女子大学の准教授である田辺尚子先生を迎え、「教師の力量形成と指導力〜自律的な学習者を育てる〜」という演題で、町内の教員を中心に60名の参加者に講演していただきました。



通さ見切の大切さを伝える先生

これからの学校を担う教員の資質や自律的な学習者を育てる考え方について具体的に説明がありました。自ら目標をたて、計画し、課題を克服できる子どもを育てるためには、学習に対する考え方を正しく身に付け

ることが大切であることが示唆されました。丸暗記や練習量さえこなせばよいのではなく、意味が分かることや考える過程、学び方がより大切になるということ。これは、喜界町がすすめる質の高い授業につながるものです。今回の講演を通して、更に子ども達の学力がより向上するよう2学期も町全体で取り組んでいきたいと思えます。

平成28年度喜界町リーダー育成サマーキャンプを実施

7月27日(水)〜29日(金)2泊3日の日程でサマーキャンプを実施しました。このキャンプは学校や子ども会におけるリーダー的人材及び次世代を担う子供の育成を目的に、喜界町子ども会育成連絡協議会と連携して毎年行われています。

キャンプでは喜界島について学ぶウォークラリーや今年初めての企画となる小野津シーマスターズの追い込み漁体験など、普段あまり触れることの少ない喜界島の自然を満喫した



魚の独特なおいにも負けず、魚さばきに挑戦中!

楽しい3日間となりました。参加した生徒は、「今回のサマーキャンプで仲間とやり遂げる喜びを知りました。これからの学校生活にも役立てていきたいです。」と嬉しそうに話す笑顔が印象的でした。

青少年ふるさと大会を開催

島内の中・高・青年が交流を深め、自主性・創造性・連帯性を育て、進んでふるさとづくりに参加し、郷土を興す青少年育成を目的に毎年開催しています。

男性はソフトボールに5チーム、女性にはバレーボールに4チームが参加して行われました。猛暑の中、各チームとも地域の誇りと名誉をかけ、元気にグラウンドやコートを駆け回り、応援に駆けつけた保護者や地域の方も大きな声援を送っていました。

今大会が起点となり、各集落の行事等で結束し、地域を盛り上げ、活性化につなげていくことを期待します。



ソフトボール部で優勝した湾子ども会のメンバー



バレーボールの部で優勝した湾子ども会のメンバー

【ソフトボール】
優勝・・・湾子ども会
二位・・・赤連子ども会

【バレーボール】
優勝・・・湾子ども会
二位・・・中里子ども会

平成29年喜界町成人式参加申込みについて

平成29年1月2日(月)に自然休養村管理センターにおいて喜界町成人式を行います。該当者は、平成28年4月2日〜平成29年4月1日までに生まれた方となっております。参加希望の方は、左記まで申込みをされますようお願いいたします。

記

【申込み先】教育委員会生涯学習課
【申込み締切】平成28年12月2日(金)
【問合せ先】成人式担当 寿満夫
651-3682

全 国喜界会連合会最後の総会開催！



全国喜界会連合会総会が8月6日、役場コミュニティセンターで開催された。諸般の事情により全国喜界会連合会は、今総会をもって解散した。今後は「全国喜界会連絡会」として新たに活動を行っていく。同日夜には、恒例の交流会が開かれシマグチに鳥唄、六調などで旧交を温め大いに盛り上がった。

親 子でスイーツ作り！



8月24日、賀村由美さん（町図書館職員）を講師に「親子でスイーツ作り教室」が中央公民館にて開催された。4家族9名が参加し、3食ゼリーやゴマ菓子を作った。始めは慣れない手つきの子どもたちだったが、すぐにコツをつかむと会話もはずみ、あちこちで笑顔が溢れていた。

集 落対抗野球が開催！



毎年恒例となっている軟式野球連盟主催の集落対抗野球が8月21日、28日の2日間にわたり開催された。この大会は、お盆などで帰省した人々も参加できるようにと毎年この時期に開催されている。また、年代間交流も図れるようにと20代、30代、40代でチーム構成される。今年は、上嘉鉄集落が栄冠に輝いた。

農 業後継者育成事業研修修了！



8月12日、町長室において町農業後継者育成事業研修生の修了証書授与式が行われた。今回、1年間の研修を修了したのは酒井義仁さん。酒井さんは「今後は、トマト、カボチャ、トウガラシなどを中心に取り組んでいきたい。自立農家の道をしっかりと歩んでいきたい」と話した。

ウ ミガメ上陸の海岸を清掃！

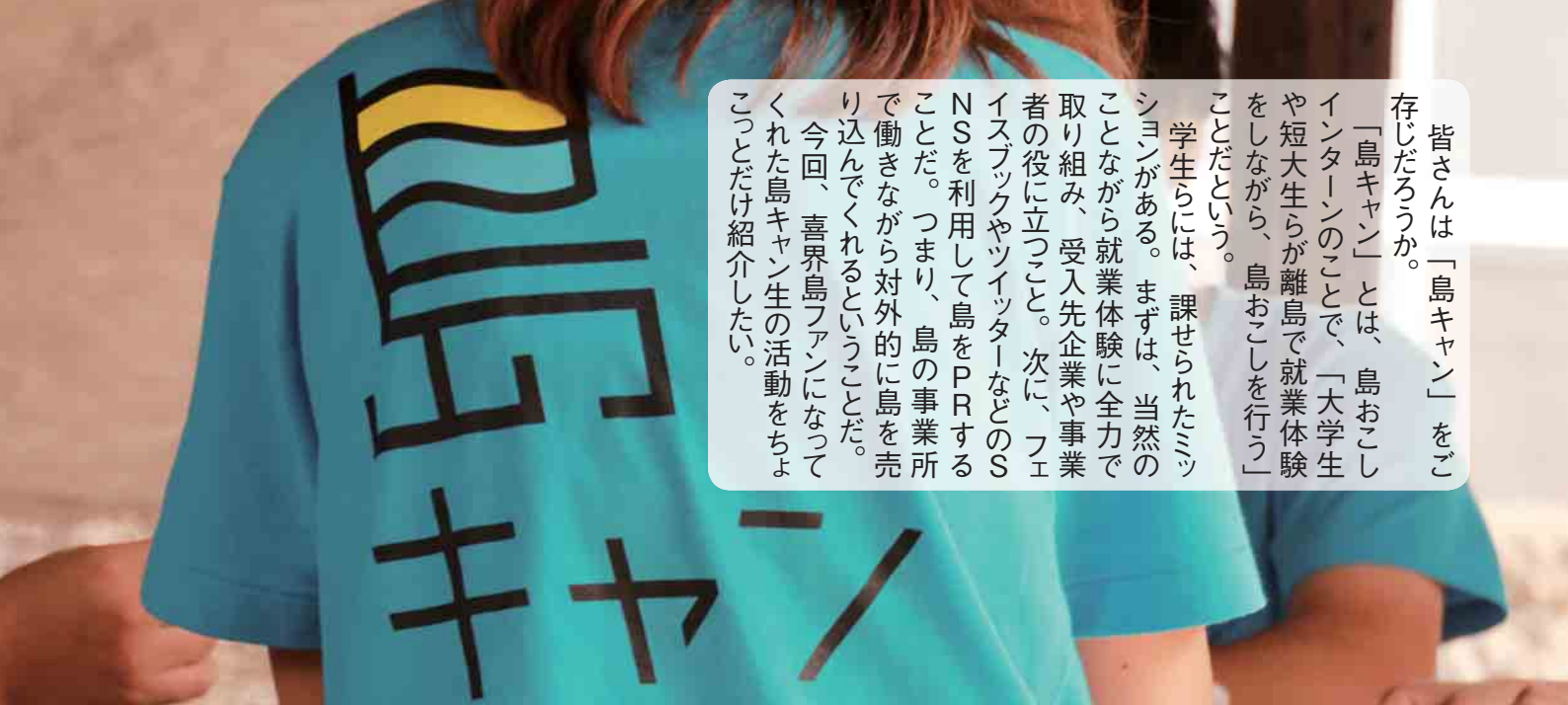


坂嶺集落青・壮年団約25名は8月21日、集落の海岸清掃を行った。清掃範囲には、先月号でお伝えしたアオウミガメの上陸した浜も含まれており、清掃後にはすっかりきれいになった浜がみられた。坂嶺青・壮年団は、毎年夏と冬に1回ずつ大規模な清掃活動を行っている。来年は、この浜でウミガメの産卵が見られるかもしれない。

ト ウガ（シブリ）が屋根から生えた！？



このほど荒木集落の福原松野さん宅の庭に高倉の屋根からぶら下がるトウガが出現した。大したど根性トウガだとよくよく眺めてみると、高倉の隣りにある大きなソテツの木をツルが伝ってきている。それにしても、植えたトウガではなく、堆肥代わりに畑に捨てた種から大きくなったとのことで、そのたくましさに松野さんも脱帽していた。



皆さんは「島キャン」をどこに存じだろうか。「島キャン」とは、島おこしインターンのことで、「大学生や短大生らが離島で就業体験をしながら、島おこしを行う」ことだという。

学生らには、課せられたミッションがある。まずは、当然のことながら就業体験に全力で取り組み、受入先企業や事業者の役に立つこと。次に、フェイスブックやツイッターなどのSNSを利用して島をPRすることだ。つまり、島の事業所で働きながら対外的に島を売り込んでくれるということだ。

今回、喜界島ファンになってくれた島キャン生の活動をちよこつとだけ紹介したい。



仕上げの包装作業中

ゆきこ 前田有貴子さん 受入事業所:喜界島酒造株式会社



島の自然を肌で満喫中♪
バランス感覚抜群!



笑顔でフロント業務担当中

かほ 中島果歩さん 受入事業所:喜界第一ホテル



中島さんがアップしたPR画面



看板製作中

さとみ 杉本聡美さん 受入事業所:宮本商店



じゃ〜ん、完成〜♪



マンゴーハウス内 黙々と作業中
10時茶(サア〜)にはマンゴーが♪

あき 伊藤綾貴さん・高塚紗希さん 受入事業所:南村製糖



取材時たまたま軽作業
仕上げのラベル貼り〜



夜光貝の加工体験 島を存分に楽しむのもミッション



島の柑橘類を使ったカクテル
開発しました〜!

なおひと 川西尚仁さん



日本初!地下ダムカレー試作品

えみか 米澤絵美華さん 受入事業所:喜界町商工会



第44回 鹿児島県スポーツ少年団競技別交歓大会

第43回 大島地区スポーツ少年団競技別交歓大会

第44回鹿児島県スポーツ少年団競技別交歓大会及び第43回大島地区スポーツ少年団競技別交歓大会が、7月23日・24日の日程を中心にして各競技会場にて開催された。

本町チームは、日置市で開催されたソフトボール競技でブロック優勝を飾った。また、郡の交歓大会では、与論町にて開催されたサッカー競技でブロック優勝を果たし県大会出場権を獲得し、陸上競技も各種個人競技において優秀な成績を飾った。他では、女子バレーボール競技が2位入賞して県大会出場権を獲得し、男子バスケットボール競技も2位に輝いた。喜界町会場では、軟式野球競技が行われ、地元開催ということもありブロック優勝を目指して臨んだが、惜しくも目標達成には届かなかった。



県の交歓大会でブロック優勝を果たしたソフトボール競技



郡の交歓大会でブロック優勝を果たしたサッカー競技



郡の交歓大会で活躍した陸上競技のメンバー

陸上競技結果

小学女子100m	第1位	長峯 ^{こな} 心愛
小学男子800m	第1位	体岡 ^{だいち} 大地
小学女子60mハードル	第1位	岩井 ^{ももか} 桃花
小学男子ソフトボール投げ	第1位	今井 ^{こうせい} 康聖
共通男子4×100mリレー	第1位	徳田 ^{らいむ} 来夢
		体岡 ^{だいち} 大地
		市来 ^{やすゆき} 崎幸
		長谷川 ^{みつか} 光夏



ピンチで声を掛け合う選手達(軟式野球競技)



地元の声援を背に精一杯プレーした(軟式野球競技)



に
ぽん
縦
断

こころ旅²⁰¹⁶



教えてください。あなたの「こころの風景」のこと

忘れられない景色、大切な人との出会いの場所、音や香りの記憶がよみがえる情景、今癒されているスポットなど。エピソードを添えてお手紙をお送りください。

お手紙募集の締め切り

10月31日(月) 必着

鹿児島県の放送予定

12月 5日(月) ~ 12月 9日(金)

12月12日(月) ~ 12月16日(金)

NHKBSプレミアム 月~金 あさ7:45 ~ コンパクトに14分
にっぽん縦断 こころ旅 火~金 よる7:00 ~ たっぴり29分

寄せられたお手紙をもとに、俳優の火野正平(ひのしょうへい)さんが、地元の人々とふれあいながら「こころの風景」を訪ねる旅を続けていきます。

誰かにそっと教えたい「喜界島の思い出の場所」、「島の何気ない風景」、「音の記憶と重なる島の情景」などなど、何でも結構ですのでエピソードを添えてお送りください。

《応募方法》

はがき・封書：〒150-8001 「こころ旅」係あてへ送付(住所不要)

FAX：03-3465-1327

番組HP：「こころ旅」で検索(HP内に投稿フォームあり)

※番組・応募に関するお問い合わせ先(NHKふれあいセンター)

TEL：0570-066-066(ナビダイヤル)

番組ホームページ：<http://www.nhk.or.jp/kokorotabi/>



10月1日～7日は、「公証週間」です。

【遺言や各種契約書は公正証書で作成しましょう】

近年、遺産相続をめぐる争いや、金銭、老後の財産管理をめぐるトラブルが増加しています。遺言や養育費の支払、金銭消費貸借、土地・建物の賃貸借契約、任意後見契約など、遺言や大切な各種契約を、公正証書で作成することによって、これらの紛争を未然に防止し、あなたの財産や権利を守ることができます。

特に、老後を快適に過ごすために、遺言公正証書や任意後見契約公正証書の作成をお勧めします。

名瀬公証人役場では、上記公証週間の平日（月曜～金曜）は、午後7時まで相談時間を延長します。相談は無料です。

当役場で相談を希望する方は、電話での予約をお願いします。また、電話での相談も受け付けます。

問合せ先 名瀬公証人役場「奄美市名瀬幸町 12 番 22 号」

TEL 0997-52-2661

奄美海上保安部からのお知らせ

10月1日（土）から10月31日（月）まで「漁船海難防止強調運動」を実施しています。

漁船（小型船舶）の事故を防止するため次の事項を守りましょう！！

- 常時適切な見張りの徹底（海難原因第1位 見張り不十分等）
- メンテナンスの実施（海難原因第2位 整備不良等）
- ライフジャケットの常時着用等自己救命策の確保（船種別では漁船海難による死亡・行方不明者数第1位）

詳細は、奄美海上保安部ホームページ

<http://www.kaiho.mlit.go.jp/10kanku/amami/> をご覧下さい。



流通販売講座「しまものラボ」参加者を募集いたします！

この秋、喜界島で島内・島外向けの食品製造を行う事業者のみなさんを対象に、流通販売講座「しまものラボ」を開催いたします。全5回のプログラムでは、流通販売や商品づくりに詳しい講師をお招きし、KDDIユーザーに向けたテストマーケティングを行いながら、商品が持つ「売り」や「課題」を発見。商品の魅力を伝えるコピーの作成や動画制作講座などを経て、より良い商品にしていくためのブラッシュアップを図ります。



しまものプロジェクトとは？

KDDIでは離島地域で商品づくりを行う事業者を対象に、流通販売支援プログラムを提供しています。全国2,500店舗のauショップ窓口で、お買い物ができる「au WALLET Market」内では、全国の離島地域から選りすぐった産品をauユーザーに向けて販売する「しまものマルシェ」を展開中。たくさんの人々に「しまもの」をお届けしています。

お申込み要綱やプログラムの内容など、詳細は喜界町商工会へお問い合わせください。皆さまのご参加をお待ちしております。

※本講座への参加には、事前の申し込みが必要となります。

共催：喜界町、喜界町商工会、KDDI株式会社、NPO法人離島経済新聞社
(理事：田向勝大 先山出身)

お問い合わせ先：喜界町商工会 0997-65-0169 (担当：牛鼻)



食品ロス削減のため、できることから始めよう！ ～住民課生活環境係～

食品ロスとは？

まだ食べられるのに「ごみ」として廃棄される食品のこと。

食品ロスの約半分は一般家庭から

日本国内の「食品ロス」は、642万トン※と試算され、このうち312万トンは、一般家庭からのものです。

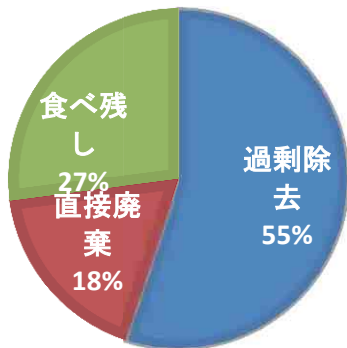
※農林水産省及び環境省「平成24年度推計」



食品ロス量は、一年間で茶わん164杯分のごはんに相当

家庭での食品ロス量を試算すると、一年間で24.6キログラムに及びます。これは、茶わん1杯分のごはんを150グラムと仮定すると、164杯分に相当します。

家庭における食品ロスの内訳



過剰除去

食べられる部分まで過剰に除去して廃棄
(例：大根の皮の厚剥き)

直接廃棄

消費期限切れや賞味期限切れにより、食事として使用・提供せずにそのまま廃棄

食べ残し

食事として使用・提供されていたが、食べ残して廃棄

喜界町に換算した場合の食品ロス状況及び生ごみ量（平成27年度実績）

収集人口	燃えるごみ	生ごみ割合	生ごみ量	食品ロス量
7,537人	2,151t	17.35%	373t	113t

注) 1 生ごみ割合は、平成27年度に2回実施したごみ質分析結果の単純平均値

2 食品ロス量は、一人1日あたり食品ロス量41グラム×人口×365日

今日から実践！食品ロス削減

【買い物編】

☆事前に冷蔵庫内などをチェック

▶メモ書きや携帯・スマホで撮影した画像が有効

☆必要な食材をこまめにゲット

▶食品ロスが多いのは野菜などの生鮮食品

▶必要以上に買った場合は、冷凍保存も活用する

☆手前に陳列されている食品をチョイス

▶家庭での利用予定に照らして消費期限を確認しましょう



【調理編】

☆残っている食材から使う

▶「いつか食べる」食品は食品ロス予備軍

☆野菜や果物の皮は厚むきしない

▶生ごみは減って、栄養は増える

☆食材を上手に食べきる

▶定期的に冷蔵庫や収納庫を整理する日を決める（例：毎月〇日はあるものでお好み焼きデー）



町からのお知らせ

企画観光課からのお知らせ 「行政相談のご案内」

【困ったら 一人で悩まず 行政相談】

☆「暮らしの何でも行政相談所」を開設します。困っていることや分からないことを行政相談委員に相談してみませんか。

喜界町では、行政相談委員の園田直樹さんが国や役所の行政などについて、自宅や電話で相談に応じています。

この度、行政相談週間の一環として下記のとおり「暮らしの何でも相談所」を開設します。相談は無料で秘密は守られますのでお気軽にご相談ください。
※会議室には守衛室横の入り口からお入りください。

記

日 時：10月15日(土) 午前10時～午後3時
場 所：喜界町役場 1階会議室
行政相談委員：園田 直樹
電 話：0997-65-3663
090-8833-6721
住 所：喜界町大字赤連2400番地
※開設日以外でも随時相談を受け付けております。

☆全国相談事例☆

- ・ガードレールを設置して欲しい!
- ・バスの時刻表が見えにくい!
- ・空き家の管理について…等々



住民課からのお知らせ 「司法書士による無料法律相談会の開催」

住民課では、毎月2回、水曜日に無料法律相談会を開催しています。登記、相続、債務、その他法律問題でお悩みの方は、ぜひご利用ください。

【10月の無料法律相談会開催日程】

開催日	場 所	時 間
平成28年10月5日(水)	役場研修室	13:30～16:00
平成28年10月19日(水)	早町支所	13:30～16:00

☆事前の予約を受付いたします。

【開催日の2日前まで(土日祝を除く平日8:30～17:15)】

☆予約・問い合わせ先

喜界町役場住民課生活環境係 65-3687

保健福祉課からのお知らせ 「子ども支援パスポート事業について」

子ども支援パスポート事業が全国共通展開になりました。

パスポートはお持ちですか?
(期限切れの方も更新を)

全国ロゴマーク →



仕組み

協賛企業・店舗等にパスポートを提示することにより割引や独自 優待サービスなどを提供する仕組みとなっています。

対象世帯

鹿児島県内に存在する妊娠中の方や18歳未満のこどもがいる世帯(1世帯につき一枚)

手続き

市町村で申請(役場保健福祉課 窓口)

内 容

子育て家庭等の負担を軽減するためのサービス(商品割引・ポイントスタンプサービス、ミルク用お湯の提供、授乳・おむつ交換スペース提供など)

※4月1日から全国共通になりました。既にパスポートをお持ちの方は、全国ロゴマークシールを配布中です。窓口までお越ください。

暮らしの情報



法務局からのお知らせ

相続登記はお済みですか?

相続登記をしないと・・・

- ①相続登記を放置している間にさらに相続が発生すると、相続人の人数が増え、登記手続きや費用にかかる負担が増加します。
- ②不動産の売却やローンの設定に時間がかかります。
- ③所有者と連絡がとれず、土地の荒廃や災害復旧及び防災のための工事ができないなどの社会問題が発生します。

自分の権利を大切にするため、次世代の子どもたちのために、未来につなぐ相続登記をしませんか?

詳しくは、法務省ホームページ「未来につなぐ登記相談」を検索してください。

* 1歳になりました *



【塩道】

勇 楓夏 ちゃん (父 利文・母 智美)

いつもここに元気いっぱいの楓夏。
歩けるようになり出来るが増えてきて、日々の成長を嬉しく感じながら楽しく毎日を過ごしています。
これからも元気いっぱい、笑顔いっぱいですくすく育ってね。
(父母より)

* おおきくなあれ *



【赤連】

(父 秀和・母 峰子)
市来崎 暉知くん(12歳・後列左) 靖幸くん(10歳・後列右)
裕政くん(14歳・前列左) 剛士くん(8歳・前列右)

いつも賑やかな我が家。
ケンカもするけど兄妹仲良し。
これからも勉強やスポーツを両立して頑張っしてほしいです。
応援しているよ。
(父母より)

海辺のかわいい住人たち



イワオウギガニ

▶オウギガニ科のイワオウギガニ。甲羅の大きさが6cmほどになる中型のカニで、潮間帯のサンゴ礁に生息する。島でも波打ち際近くの磯の隙間などでよくみかける。形は丸みを帯びて目が赤く見つけやすいが、ハサミは強力で力も強いので注意が必要だ。

今日の花

～ホウオウボク～



▶まめ目ジャケツイバラ科ホウオウボク属の熱帯性落葉高木。マダガスカル原産で、8mぐらいになる。花は赤色で大きく、赤の花弁にまざって、写真のように白の花弁がみられる。整った笠型の自然樹形で大きな枝が多数出するため、樹下は夏でも涼しく熱帯地方では憩いの場になる。葉はシダに似て形がよく涼しげ。葉の緑色と赤い花とのコントラストが美しい。解毒薬として樹皮を乾燥させて利用することもある。写真の木は、役場の裏手駐車場にあるもの。今年は、台風が少ない影響もあるのか花の数も多く見応えがある。

氏名	住所
山本 修	東京都杉並区
川畑 政人	大阪府大阪市
庄司 利之	静岡県静岡市
新田 幸恵	千葉県松戸市
砂金 達	東京都北区
勝谷 健	始良市
講屋 長秀	京都府京都市
吉田 タツエ	新潟県新潟市
北島 義文	茨城県水戸市
金川 絵理奈	神奈川県茅ヶ崎市
西 念一	大阪府堺市

ふるさと納税 (寄付金)

堀田 豊弘	香川県高松市
榮 治雄	兵庫県宝塚市
高附 和寛	鹿児島市
奥 政之	大阪府茨木市
得田 吉喜	大阪府枚方市
■ 一般寄付金	
東京志佐会会長 外内 真一	
世田谷区議会議長 上島 よしもり	
東京都大田区 濱田 勲	
(故)濱田 ミヤ 93才・川嶺	

喜界歌壇

〈萌芽会〉
 長けゆける秋鳴く蝉の声わびし 老いたる細きわが身に似たる
 リオ五輪日本の活躍嬉しくて 毎夜応援テレビくぎづけ 美代 イシ
 早朝の鳥の合唱に目の覚める 窓を開けはなち雲の流れ見ゆ 平島 初子
 夏祭り子孫と母を伴ひて 喜ぶ顔に心満ちたり 井澤 紀美子
 リオ五輪メダルラッシュ日の丸に 思いをこめて選手ふんばる 前田 喜代美
 遊さし人笹をたよりに帰り来る 迷わぬように七夕高く 高田 エツミ
 星くずがポロツと落ちてくるようね 友の言葉に感動覚ゆ 弘岡 稲子
 夏本番猛暑の日差し振る庭の 椿蘭高きたじろぎもせず 中村 ひろえ
 豊島 瞳
 佐東 喜三郎
 日向路と肥後路まじわる峠の小屋 雲海の彼方浮きつ沈みつ
 神話の里岩戸の前にたたずめば うずめの舞の見ゆるが如く

仙原 咲枝 (84才・伊実久)
 大喜 せい子 (95才・志戸桶)
 房永 侑姫 (赤連)
 豊田 響 (健治・赤連)
 和音花 (雅之・池治)
 保護者・住所



まだわあさんど

前島 初男さん

(昭和7年生・83歳・白水)

娘さん夫婦と緒に暮らす初男さん。お宅の門口を歩入るとテンノウメ、タイワンソテツにヒカゲゴと見事な庭園が広がっている。毎朝5時起床、約20分の散歩を経て軽めの朝食。その後は、正午まで庭の手入れに精を出す。昼食後も一時間の休憩をとり、再び手入れに取りかかる。「昔から誠実でまっすぐだった」とは区長の評。なるほど手入れがきちっと行き届いた庭に、飾らずとも威厳を感じる語り口。約40年間勤めた建設会社での仕事振りも目に浮かぶよう。元気の秘訣は、趣味の庭いじりに没頭すること、野菜中心の食生活。昔うちゆの気質をまとうた初男さん、これからも元気に長生きされてください。

戸籍の窓

こんにちは赤ちゃん

氏名 (保護者・住所)
 勇 和音花 (雅之・池治)
 豊田 響 (健治・赤連)

いつまでもお幸せに

氏名 住所
 房永 薫 (城久)
 重 侑姫 (赤連)
 大喜 せい子 (95才・志戸桶)
 仙原 咲枝 (84才・伊実久)

ごめい福をお祈りします

直 アキ (87才・佐手久)
 奥村 ヨリ (78才・坂嶺)
 相良 一敏 (81才・荒木)
 久保 ツヤ (93才・荒木)
 松本 妙子 (64才・小野津)
 直島 千代 (92才・小野津)
 黒木カツエ (86才・浦原)
 平田 勇 (72才・赤連)
 西山カメ子 (80才・上嘉鉄)
 福井チズエ (66才・湾)
 霜田 フミ (87才・嘉鈍)
 棚原テツエ (85才・湾)

社協だより (敬称略)

寄付金 (香典返し)

氏名 住所
 仙原 一也 伊実久
 松本 富美 小野津
 奥村 忠好 坂嶺
 直島 秀司 小野津
 福井長次郎 湾
 久保 一元 霧島市(荒木出身)
 国重 誠二 浦原

喜界町の住基人口

(平成28年9月1日現在)

世帯数・・・3,921戸(0)
 人口・・・7,398人(▲10)
 男・・・3,633人(1)
 女・・・3,765人(▲11)

()は前月比

納付をお忘れなく! (9月)

【税】国民健康保険税第3期 9/30まで
 【使用料】9月分簡易水道・下水道使用料・公営住宅使用料・保育料 9/30まで

役場 1階会計又はお近くの金融機関で納めてください。納入はお早めに!!

先月号号11p「子ども議会開催」記事、「早町小4年の宮園夢月さん」は「早町小6年の宮園夢月さん」でした。お詫びして訂正します。

くらしのカレンダー

(平成 28 年9月23日～10月 20 日迄)

すこ・・・旧すこやかセンター
 子育て・・・子育て支援センター
 コミ・・・役場コミュニティホール
 トレ・・・役場トレーニング室
 研修・・・役場研修室

日	月	火	水	木	金	土
					9/23 ●うもーり図書館試写会【図書館2階 11:00～17:15】	9/24 ●特別お話し会【図書館2階 14:00～14:45】 ●二十四日祭(塩道)
9/25 ●内科診療(～9/28)【診療所小学校側 9:00～16:00】 ●豊年祭/天満宮(志戸桶)、豊年祭/島遊び(先山、浦原)	9/26 	9/27 ●2歳・2歳半 児歯科健診【すこ13:15～】	9/28 ●無料法律相談【支所 13:30～16:00】 ●豊年祭/八幡神社(小野津)	9/29 	9/30 	10/1
10/2 ●喜界小・早町小運動会	10/3 	10/4	10/5 ●無料法律相談【研修 13:30～16:00】	10/6 ●巡回療育相談	10/7 ●巡回療育相談 ●赤ちゃんお話し会【図書館絵本コーナー 11:00～12:00】 ●ウヤンコー・ドゥンガー(先山、浦原、嘉鈍)	10/8 ●土曜授業【各小・中学校 8:15～12:05】 ●豊年祭(阿伝)
10/9 ●町民体育祭【8:20～16:00】 ●豊年祭(西目・阿伝)、港祭り/観音宮(塩道)、水神祭(先内・大朝戸)	10/10 	10/11 ●豊年祭/島遊び(滝川)	10/12 ●精神巡回診療(～10/13)【診療所 8:30～】 ●豊年祭/松尾神社(川嶺)	10/13 ●団体貸出(各幼・保・テクテク・子育て・早学童)【各施設 14:30～15:30】 ●乳児健診【すこ 13:15～】 ●小学校陸上競技会 ●ハカンメー遊び(島中)、住吉神社祭(滝川、池治、中間、先内)	10/14 ●体操教室【コミ 19:00～20:30】	10/15 ●体操教室【コミ 9:30～11:00】 ●豊年祭等(集落多数)、フユンミ(先山、浦原、塩道、嘉鈍)、招魂祭(伊実久)、(先内・大朝戸)
10/16 ●あゆみ・のぞみ幼稚園運動会 ●ふるさと美化活動 ●豊年祭(羽里、城久)、豊年祭/ハナビラキ(佐手久)	10/17 ●母子相談【子育て 11:00～】	10/18 ●結核検診(～10/2AM まで)	10/19 ●早町小団体貸出(1～3年)【早町小 13:00～13:30】 ●無料法律相談【研修 13:30～16:00】 ●豊年祭等(集落多数)	10/20 ●早町小団体貸出(4～6年)【早町小 13:00～13:30】		

小教でも
キラリと輝く
きかいしま
広報
きかい
2016.9
Vol. 591
発行/喜界町役場
編集/企画観光課
〒891-6292
☎0997(65)1111
http://www.town.kikai.jp/
喜界町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

毎週月曜日は図書館休館日です
 毎週土曜日14:00～はお話し会(図書館2階)です

※行事は変更になる場合があります。ご了承ください。

編集後記

お気づきの方も多いと思うが、小生の広報紙のレイアウトや誌面デザインなどは、お世辞にも「洗練されている」とは言い難い。しかし、ものを知らぬとは怖いもので「広報係といっても皆最初はずぶの素人ですから。あんまり洗練されているより、このぐらいの方がローカル感が出ていいと思ってます」などとうそぶいていた。ところが、先日初めて参加した広報研修会。広報紙作りの技術やら「ころも」やらについて勉強するのだが、最初は「へえ、ほほ、アッセンナ」などと余裕を持ちつつ感心しつつ聞いていた。しかし、しばらくすると、説明内容がごとごとく小生作の広報紙と真逆のことばかりだと気付く。まるで、小生がダメ出しをされているかのようである。普段なら例のごとく「ローカル感」を前面に出し、「何の、何の、研修会が何するものぞ」と返すのだが、優良事例として紹介される広報紙は素晴らしく、やはり本物なのである。すっかり自信をなくし、自分の無力を恥じ入りながら、しまいは「まさか、この研修会の講師テキストは広報きかい○月号ではあるまいな」と疑心暗鬼に陥る始末である。

そんなこんな研修会後、少しふさいだ気持ちで取材をしていると「ハゲ、あなたの広報の、ほらっあの一番後ろの長いよ。楽しみにしてるよー」やら「いや、今月号の表紙いいね、誰に撮ってもらったのよ」などとお褒めの言葉。正直、「救われた、何だ広報きかいイケてるじゃない」と小生復活である。ただ、よくよく考えてみると「一番後ろの長い」と表紙以外についての言及は全くない。が、そんなことを気にする小生ではない。読者の皆さんの温かい言葉に背中を押され、本日も超プラス思考で取材に出かけていく、いつもの小生なのである。(夏目)